

第 17 回地域がん登録全国協議会総会研究会ならびにがん登録担当者集会のご案内

関根 一郎

長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 原研病理

第 17 回地域がん登録全国協議会総会研究会を 2008 年 9 月 12 日（金）、長崎大学医学部キャンパス内にある良順会館で開催いたします。前日の 11 日午後には、がん登録担当者集会を行います。今回は初の試みとして、実務担当者部会と別に行政担当者部会を設けました。一昨年の「がん対策基本法」成立後、がん登録を取り巻く環境も大きく変化してきているようです。このような状況を踏まえ、「がん対策基本法施行後の現状と課題」というテーマで、登録実務者と行政担当者が一体となり、がん登録の更なる発展を目指す一助となるような会になればと企画いたしました。

懇親会改め情報交換会を、11 日のがん登録担当者集会終了後に場所を移して行います。多くの方にご参加

いただき、午後の集会において消化不良であったり、話し足りなかった事について、さらに議論を深めていただいたり、併せて各登録間の交流を深めていただければと、参加費を例年になく低額に設定いたしました。例年どおり総会研究会の一環として、ポスター展示も行いますので、ポスター賞を目指してご準備いただければと思います。

長崎における地域がん登録は市医師会の事業として 1958 年に開始され、今年 50 周年を迎えました。その記念行事として、長崎における 50 年のがん登録の歴史をまとめ、がん罹患データを分かりやすく提示した記念誌を作成し配布させていただき準備も着々と進めつつあります。

9 月に皆様にお会いできることを楽しみにしています。まだ参加申し込みがお済でない方も是非、長崎へおいで下さい。お待ちしております。

9 月 11 日（木） がん登録担当者集会

参加費：1000 円

14:00 受付開始

14:20-14:30 会長挨拶

14:30-15:30 第 1 部

精度の高いがん登録を目指す

座長：柴田亜希子（山形県立がん・生活習慣病センター）

①福井県における登録精度向上への試み

藤田 学（福井社会保険病院）

②山梨県における標準登録様式を導入したがん登録の立ち上げ

山下 清子（山梨県福祉保健部）

15:45-17:15 第 2 部

1. 実務担当者部会 血液疾患のコーディング

座長：早田みどり（放射線影響研究所）

①造血器腫瘍の臨床と WHO 分類

宮崎 泰司（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科）

②WHO 分類に基づいた悪性リンパ腫の分類

新野 大介（久留米大学医学部）

③本当は恐くない血液疾患のコーディング

松尾恵太郎（愛知県がんセンター研究所）

2. 行政担当者部会 がん対策とがん登録

座長：藤田 利枝（長崎県福祉保健部）

①我が国のがん対策の動向

片岡 穰（厚生労働省 健康局総務課がん対策推進室）

②行政における地域がん登録資料の活用

田所 昌也（大阪府健康福祉部）

18:00- 情報交換会

会場：ウェルシティ長崎

参加費：2000 円

9 月 12 日（金） 総会研究会

参加費：3000 円

9:00- 9:30 受付開始、ポスター掲示

9:30-10:00 会長挨拶、来賓祝辞

10:00-10:10 長崎市医師会腫瘍統計委員会 50 周年記念 長崎県からの感謝状贈呈式

10:10-11:10 特別講演

1. わが国の地域がん登録の現状と展望について
-がん対策推進基本計画をふまえて-

味木和喜子（国立がんセンターがん対策情報センター）

座長：陶山 昭彦（放射線影響研究所）

2. 長崎における成人 T 細胞性白血病とがん登録
土居 浩 (長崎県南保健所)
座長: 田島 和雄 (愛知県がんセンター研究所)
- 11:10-12:00 会長講演
長崎腫瘍組織登録委員会について
-地域がん登録そして原爆研究への利用-
関根 一郎 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科)
座長: 小松原秀一 (新潟県立がんセンター新潟病院)
- 12:00-12:30 総会
12:30-13:30 昼休み
13:30-15:00 シンポジウム I
がん登録資料の活用・成果
座長: 岡本 直幸 (神奈川県立がんセンター
臨床研究所)
三上 春夫 (千葉県がんセンター)
- ①がん患者の受療動態
津熊 秀明 (大阪府立成人病センター)
- ②がん検診の精度管理
西野 善一 (宮城県立がんセンター研究所)
- ③長崎腫瘍組織登録委員会資料を用いた被爆者腫瘍の病理疫学研究成果
中島 正洋 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科)

- ④がん登録を活用した長崎県のがん対策について
藤田 利枝 (長崎県福祉保健部)
- 15:00-15:30 休憩 (ポスター見学)
15:30-17:00 シンポジウム II
九州・沖縄のがん登録の現状
-各県のがん対策推進基本計画をふまえて-
座長: 岸本 拓治 (鳥取大学医学部)
祖父江友孝 (国立がんセンター
がん対策情報センター)
- ①沖縄県のがん登録の現状
賀数 保明 (沖縄県衛生環境研究所)
- ②熊本県のがん登録の現状
中村貴美枝 (熊本県健康福祉部)
- ③長崎県のがん登録の現状
陶山 昭彦 (放射線影響研究所)
- 17:00-17:15 ポスター表彰、閉会挨拶
17:15-17:30 ポスター撤去

第 17 回地域がん登録全国協議会総会研究会
大会会長: 関根一郎
副会長: 陶山昭彦
事務局: 長崎大学大学院原研病理 気付
〒852-8523 長崎市坂本 1 丁目 12-4
電話: 095-819-7107 FAX: 095-819-7108
E-mail: f2064@cc.nagasaki-u.ac.jp

国立がんセンターがん対策情報センター の Vision 「人材育成」

松田 智大

国立がんセンターがん対策情報センター

がん情報・統計部

国立がんセンターがん対策情報センターが発足して 2 年目を迎えました。当初から、がんサーベイランス機能の使命 (Mission) として「正確で役に立つがんの統計情報を整備すること。」を掲げ、活動目標 (Vision) の一番目は「がん登録の標準化と精度向上を推進する。」、二番目は「がん登録を担う人材を育

成する。」と定めています。

がん登録の標準化と精度向上は、地域がん登録全国協議会の会員の皆様を中心となってその推進にご協力いただいております。第 2 期事前調査 (<http://www.cancerinfo.jp/jacr/publish.html>) の結果からも伺えるように、第 3 次対がん 10 ヶ年開始当初と比較し、確実に前進しています。

「がん登録を担う人材を育成する」ことが、標準化と精度向上と同列で、がん登録の前進に重要な位置づけがされていることは、「人材を養い、有為の人物を蓄え、適材を適所に配するは、資本力以上に大なる財産である。」(野村證券創設者の野村徳七) という